

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成18年6月1日(2006.6.1)

【公開番号】特開2005-230608(P2005-230608A)

【公開日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-034

【出願番号】特願2004-39809(P2004-39809)

【国際特許分類】

**B 0 1 D 21/02 (2006.01)**

**C 0 2 F 1/24 (2006.01)**

**C 2 3 G 1/36 (2006.01)**

**C 2 3 G 3/00 (2006.01)**

【F I】

B 0 1 D 21/02 Z A B F

C 0 2 F 1/24 A

C 2 3 G 1/36

C 2 3 G 3/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月7日(2006.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

請求項1～3の何れかに記載のアルカリ洗浄液のリサイクル装置の使用方法であって、前記複数枚の堰の間をレイノルズ数が3000以下となるように廃液を流動させることを特徴とするアルカリ洗浄液のリサイクル装置の使用方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

(2)前記(1)に記載のリサイクル装置において、複数枚の堰の間(流路)をレイノルズ数が3000以下となるように廃液を流動させるアルカリ洗浄液のリサイクル装置の使用方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

本発明のアルカリ洗浄液のリサイクル装置の使用方法は、『前記本発明のリサイクル装置において、複数枚の堰の間(流路)をレイノルズ数が3000以下となるように廃液を流動させる使用方法』である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

【数1】

$$R_e = \frac{W \cdot U}{\nu} \quad \cdots (1)$$

ただし、 $R_e$  : 堰間レイノルズ数 [-]

$W$  : 堤の水平方向間隔 [m]

$U$  : 2枚の堰で形成された流路の入口  
における堰間流速 [m]

$$U = u / \cos \theta$$

ここで、 $u$  : 液面上昇速度 [m]

$\theta$  : 堤の傾き [°]

$\nu$  : 動粘性係数 [ $m^2/s$ ]

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

このように、複数枚の堰の間（流路）をレイノルズ数が3000以下となるように廃液を流動させる本発明のアルカリ洗浄液のリサイクル装置の使用方法によれば、廃液中の不純物の効果的な分離が行える。

【手続補正6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図6】

